No3 2016春号　2016年 6月 6日
発行：日本フロアボール連盟

JFF NEWS

日本フロアボール連盟は、2016年1月より「社団法人日本フロアボール連盟」となりました。
連盟の法人化により、社会的に認められた団体となり、今後の様々な活動を行っていくことが可能となりました。

P1・社団法人化について
・フロアボール夢ＰＪ第3回強化合宿
P2・国際大会関連情報
P3・フロアボール各大会結果
P4・ネオホッケー各大会結果
P5・クラブ紹介　千葉フロアボールクラブ
・地方連盟紹介　三重県連盟

「日本フロアボール連盟　法人化にあたり」

冒頭記載の通り、日本フロアボール連盟は東京都中央区に事務所を置く「一般社団法人」となりました。この法人格取得により、社会的な信用が確保され、銀行口座の開設や各種助成制度の応募などの権利主体としての地位が格段に向上しました。平たく言うと住所不定の任意団体から、日本国に住民権を持つ法人団体になったということです。今後の日本フロアボール連盟の事業展開がより円滑に推進できる礎石となるものです。今回の法人化に尽力頂いた役員等関係者に、改めて感謝申し上げます。さて、日本フロアボール連盟は設立5年目を迎えます。現状の競技レベルや愛好者数は十分とは言えません。更なる進歩に向け、会員の増強あるいは財務基盤の拡充を目指し、具体的な施策を着実に実践して参ります。選手会員の方々、そして地方連盟・協会の役員の皆様と一緒になって、このフロアボール・ネオホッケー競技を普及・振興していきましょう。

【第3回　強化合宿　夢PJ　報告】

<日程>　2016年3月26日（土）～29日（火）　　<場所>　長野県野辺山
<参加者>　選手　56名、保護者　4名、スタッフ　16名（役員含む）
<スケジュール>　26日　開校式、練習（ランニング、基礎トレーニング）、ナイターリーグ
27日　練習（ランニング、基礎トレーニング、ゲーム等）、ナイターリーグ
28日　練習（ランニング、基礎トレーニング、ゲーム等）、ナイターリーグ
29日　練習（ゲーム）、懇親会（滝沢牧場）

2014年より実施をしている夢PJの一環として実施している教育研修合宿。第3回となる今回は3月26日（土）から29日（火）で実施。今年の参加選手は、全員で56名（神奈川　30名、東京　6名、埼玉　7名、栃木　5名、山梨　4名、静岡　2名、愛知　1名、福島　1名）となり、山梨と福島から初参加がありました。

開講式では、コーディネーターの吉野常任理事より「日本のフロアボールの現状は世界レベルの追いつくどころか、アジアでも他国の追い越されてしまっている。今回参加している選手は、オリンピック、世界選手権とこれからの日本を背負って立つことになるから、これからは意識を高く競技に取組んでほしい。」とありました。

練習メニュー以前より実施している基礎練習を中心におこない、合宿後半のゲームでは、スタッフが監督・コーチとなり、また、選手に交じって試合を行いました。今回のチーム編成は、各学年を均等に分けたこともあり、リーグに参加している選手を中心に小学生に試合の運び方などをレクチャーしていました。中学生に関しては、ゲーム展開等もしっかりと組立ができており、リーグ戦を経験した成果が十分に発揮された内容でした。

夜は恒例のナイターリーグを実施。3vs3形式のミニゲームでスタッフや保護者の方も一緒に汗を流しました

加えて、今年は課題を与え部屋ごとで課題解決の方法について考える取り組みも行いました。各部屋でまとめたものは、全員の前でプレゼンもしました。この取り組みは、短時間で選手同士が話し合い、試合での組み立てや意思疎通をすることを目的としています。今回の課題は「日本のフロアボールが強くなるには？」です。

選手達は、少ない時間で部屋全員で集まり話し合いし、これだけの考えをまとめたことにスタッフは驚きました。来年も引き続き合宿を実施いたします。普段の練習とは一味違った内容で選手には良い刺激になるとともに、自分たちのプレーにも自信が付くはずです。多くの参加を心よりお待ちしております。

（合宿報告書より抜粋）

世界大会情報

【報告】2016　U-19女子世界選手権大会

写真：7th Women´s U19 World Floorball Championships Official event website

2016年5月4日～8日にカナダ・ベレヴィルで開催された、U-19女子世界選手権大会に日本チームが初出場をしました。初の国際試合に臨んだ選手達は、緊張の中、予選リーグに臨みました。初戦のカナダ戦では一時リードをする試合展開でしたが、残念ながら敗戦。続く、ドイツ、タイにも敗れBディビジョン上位への道は閉ざされてしまいました。しかし、最終戦の順位決定戦、オーストリア戦では、15-0で快勝！Bディビジョン6位（全7チーム）となりました。皆さんの応援ありがとうございました。

【開催】

2017 U-19 男子世界選手権大会
アジア太平洋予選会
日本での開催決定！

2017年5月スウェーデンで開催される2017U19男子世界選手権大会。そのアジア太平洋予選会が日本で開催されることが決定しました。

これは、アジア太平洋地域の2枠に対し、日本・ニュージーランド・イラン・オーストラリアがエントリーをしたためです。当初は、イランでの開催予定でしたが、現在、イランは国内情勢が不安定なことから、急遽、日本での開催となりました。日本での国際大会開催は3回目となります。

日程：2016年9月18日～20日
場所：山梨県富士吉田市

詳細な情報は、各地方連盟へのメール配信、ホームページ等でお知らせしていきます。

【報告】2015　女子世界選手権大会

2015年12月4日から12日までの日程で、フィンランド・タンペレに参加しました。結果は、16チーム中15位という結果で、目標としていた予選リーグ突破は出来ませんでした。

今回は、久しぶりに、今、考え得るベストの選手とスタッフが集まり、予選リーグ突破を現実的な目標と定め、準備に励みました。また、監督としても、充分に目標達成への手応えを感じていました。しかし、最終的には接戦の末、15位という結果に終わってしまいました。身体の大きい相手とのゲーム経験の不足、それが全てであったと感じています。次の世代の選手のみなさんには、色々な機会を有効に活用し、国際試合の経験を積んで欲しいと願っています。

監督　吉野貴順

世界学生選手権に続き二度目の代表コーチを務めさせて頂きました。予選突破を明確な目標に準備し戦いましたが結果としては15位という悔しい結果になってしまいました。コーチとしての自分の経験や知識不足を痛感させられました。しかし、チーム発足から大会に向けプライベートも犠牲にしてストイックにトレーニングを積み、大会を通してチームとしての成長、チーム力があったチームでした。そんなチームの一員をして戦えて良かったです。

コーチ　伊川　真彦

【報告】2016　男子世界選手権大会アジア太平洋予選会

2016年2月2日から6日までの日程で、タイ・パタヤにて開催された「2016男子世界フロアボール選手権大会アジア太平洋予選会」に男子日本代表チームが出場しました。

予選突破まであと1勝でしたが、最終戦、タイに敗戦。本選出場とはなりませんでした。日本は初めて本選出場を逃しました。

本選出場したチームは、オーストラリア、シンガポール、タイとなります。

写真：IFFホームページより

大会終了後には、ベスト6が選出され、日本からは樋口選手（GK・調布FB）が選出されました。

フロアボール部門　各大会結果

年度の締めくくりである、2016日本選手権では、男子では神奈川フロアボールが1年ぶりに返り咲きました、女子は調布フロアボールクラブが連覇を果たしました。閉会式では、日本選手権ならびにリーグ戦の閉会式も行われ今年度の最優秀選手・優秀選手・ベスト6が選出されました。また、昨年12月に行われた学生クラブチームナンバーワンを決める学生選手権では、国士舘大学がリーグ戦の勢いそのままに男女でアベック優勝を果たしました。

1月に行われたオープン大会では、普段、フロアボールをプレーしていない選手も多く参加し、フロアボールの楽しさを味わっていました。

2016日本フロアボール選手権大会
日程：2015年11月8日～3月6日
会場：駿河台大学、栗駒総合体育館ほか

男子の部	
順位	クラブ名
1	神奈川フロアボールクラブ
2	千葉フロアボールクラブ
3	国士舘大学

女子の部	
順位	クラブ名
1	調布フロアボールクラブ
2	国士舘大学
3	東北フロアボールクラブ

写真提供：木村理

今大会は、決して簡単な試合はありませんでしたが、『勝てる』という自信を全選手が持っていました。そして、なによりも若手の成長と若手に負けたくないというベテラン勢のチームの中での切磋琢磨が優勝に繋がりました。

日本選手権7連覇を達成することが出来ました。
この結果に満足することなく、今年度もチーム全員フロアボールを楽しむと共に、日本リーグ優勝＆日本選手権8連覇目指します！！

2015日本フロアボール学生選手権大会
日程：2015年12月19日～12月20日
会場：駿河台大学

男子の部	
順位	大学名
1	国士舘大学
2	山形大学
3	駿河台大学

女子の部	
順位	大学名
1	国士舘大学
2	駿河台大学
3	仙台大学

男子4連覇、女子初優勝、アベック優勝と よい結果を残すことが出来た学生選手権だったと思います。
王者国士舘として名を残せるよう、男女ともに連覇を死守し、今年の今年の学選手権も アベック優勝目指して頑張ります！

フロアボールオープン大会
日程：2016年1月10日（日）　会場：茅ヶ崎市総合体育館

	優勝	準優勝	3位
小学生の部	こべントス颯	こべ岡上	津久井MAXジュニア バズルジュニア
一般の部	神奈川県連盟	弾打団α	ウィーア国士 ぶるーふるふぃる
シニアの部	MAX	津久井MAXシニア	岡上フロアボールクラブ SかなべえDeluxe

一般の部　優勝　神奈川県連盟
即席チームではありましたが、チームのほぼ全員がフロアボール経験者。フロアボールを通して練習をしているからこそ、即席であってもコミュニケーションがとれ、良い連携をすることができ結果に繋がりました。

ネオホッケー部門　各大会結果

全国の地域予選を勝ち上がったチームが戦う日本選手権が行われました。
男女日本選手権では、男子では全国大会でも優勝した「レモンズ」が、女子では「高島平オバンシスターズ」が優勝。混成日本選手権では、「ゑびら」が連覇を果たしました。

日本男女ネオホッケー選手権　2016

日程：2016年1月24日　場所：蕨市民体育館

男子の部
【優　勝】 レモンズ（東京都江戸川区）
【準優勝】 A REDS（愛知県幸田町）
【第3位】　チェリーヒルズ（愛知県豊橋市）

男子の部　優勝　レモンズ

私たちは少ない練習時間の中で精一杯練習し、優勝できて本当に嬉しいです。これからも技術を磨いて連覇に向けて頑張ろうと思います。

女子の部
【優　勝】 高島平オバンシスターズ
（東京都板橋区）
【準優勝】 ミスボンバーズス（東京都江戸川区）
【第3位】 ピーチプラッパーズ（愛知県豊橋市）

女子の部　優勝　高島平オバンシスターズ

フォーメーションから考え直し、勝つことだけにこだわり練習してきたことをしっかりと発揮でき、さらに優勝という最高の結果がついたことを本当に嬉しく思います。みんなで楽しく練習をし、また来年も優勝狙います!!!!!!

日本混成ネオホッケー選手権2016

日程：2016年2月14日　場所：神奈川県立体育センター

【優　勝】 ゑびら（愛知県小牧市）
【準優勝】 レモンズ（東京都江戸川区）
【第3位】 坂崎ローリングス
（愛知県幸田町）

全国大会の優勝から出場権を得た、ゑびらが、混成日本選手権も制覇。
全ての試合で、王者にふさわしい戦いを繰り広げました。2016年度も完全制覇を果たし連覇となるか楽しみです。

日本小学生＆中高生ネオホッケー選手権2016＆幼児大会

日程：2016年3月20日　場所：八王子市エスフォルタアリーナ

≪低学年の部≫
【優　勝】トヨサカイーグルス
（愛知県幸田町）
【準優勝】こべ岡上（神奈川県川崎市）
【第3位】すみよしエース
（神奈川県川崎市）

≪高学年の部≫
【優　勝】トヨサカブラックス（愛知県幸田町）
【準優勝】トヨサカフェニックス
（愛知県幸田町）
【第3位】FWフォーマルアウト
（神奈川県川崎市）

高学年の部　優勝　トヨサカブラックス
最初は、緊張していて勝てるかわからなかったけど、試合を重ねるにつれて緊張が解けていって、優勝することができたので、とても嬉しかったです。

≪中高生の部≫
【優　勝】ユベントスJr(神奈川県川崎市)
【準優勝】すみよし（神奈川県川崎市）
【第3位】メビウス（神奈川県川崎市）

≪幼児の部≫
【優　勝】ヤンチャリカ（東京都調布市）
【準優勝】リトルワラビ（埼玉県蕨市）
【第3位】岡上キッズ（神奈川県川崎市）

幼児の部　優勝ヤンチャリカ
子どもたちは普段、和気藹々とした雰囲気の中、意欲的にホッケーの練習に取り組んでいました。ときには練習試合に負けると悔し涙を流す子もいるほど、ホッケーに親しみ、楽しんでホッケーをしてくれたことが結果に結びついたようです。

【フロアボールクラブ紹介】

千葉フロアボールクラブ

設立当初は数十名、一時はリーグ戦にも参加できない小クラブでしたが、今年度は男子約50名、女子約30名の総勢約80名のクラブになりました。

毎週土曜日に茂原市民体育館（千葉県）や蕨市立北小学校体育館（埼玉県）など様々な場所で練習に励んでいます。昨年度の日本選手権では、男子は準優勝、女子は4位という結果だったため、今年度は男女揃っての優勝を目標に頑張りたいと思います。

練習時間や活動内容等の詳細は、Webサイトをご確認ください。URL：http://chiba-floorball.com/

【地域で頑張ってます！（地方連盟紹介）】

三重県フロアボール連盟

県組織が2007年10月に立ち上がり、今年の秋で9年を迎えます。

設立当初は、会員13名程度の小さな団体でしたが、世代交代をしつつ、現在では4市町を中心に150名程度の規模になりました。

設立当初、体験教室で入会してくれた当時の小学生が、近隣県の大会に参加させていただくなどを繰り返し、力をつけることができました。その結果、「日本中高生ネオホッケー選手権2015・2016」に出場し、昨年、入賞するまでになりました。

県内の指導者一人ひとりが、この種目の楽しさを伝えようと、日々、各市町で展開しております。

県内の指導者、会員、そして日本連盟、近隣の県連盟に支えられ、三重県連盟はここまで来ました。

今後、一人でも多くの県民と、笑顔あふれる時間を過ごしていければいいなと考えております。

三重県フロアボール連盟　ホームページ　http://mie-floorball-federation.com/

連盟ホームページ

http://www.floorball.jp/

連盟公式　Facebook

https://www.facebook.com/japanfloorballfederation/

【お問い合わせ等は連盟HPからお願いします。】

今回で3回目の発行となりました。連盟も今年度より社団法人となり、情報紙も「JFF　NEWS」になり、ちょっとだけリニューアルしました。そして、今シーズンもスタート。広報委員会も沢山の取材ができるように頑張っていきます！！

編集担当　広報委員会